

各種行政サービス・住民負担

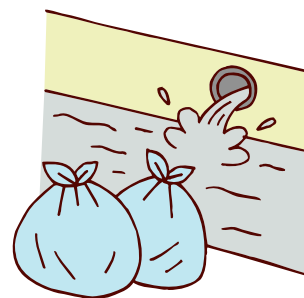
●水道

	新宮町	古賀市	福岡市	備考
給水人口(人)	21,952	44,816	1,366,100	
普及率(%)	95.7	80.0	98.9	給水人口/総人口
上水道使用料金(円/月)	10,010	10,040	7,948	

注) 家庭用(口径13mm)を50m³利用した場合の料金

新宮町と福岡市の普及率は100%近くとなっています。ただし、自己水源については、どの自治体も充分とはいえません。合併を選択すれば、自治体同士の配水管を連絡することにより、水道水の供給や管理が容易になるため、水の安定供給が可能となります。

古賀市・福岡市ともに新宮町とは水道料金と設定方法が異なりますが、事業規模、水源確保、給配水等の面においては、合併のメリットが高くなります。



●下水道

	新宮町	古賀市	福岡市	備考
公共下水道普及率(%)	43.4	67.1	99.2	普及率=下水道供用区域内人口/総人口
下水道等処理人口(人)	17,729	42,974	1,310,389	(合併浄化槽等も含む)
下水道等普及率(%)	77.6	76.4	98.7	下水道等処理人口/総人口
下水道使用料金(円/月)	6,090	6,510	7,035	下水道を家庭用として2ヶ月50m ³ 利用した場合

新宮町の公共下水道普及率は、3市町の中で最も低く、全て福岡市和白浄化センターにおいて処理されています。今後中央処理区の整備が期待されますが、単独での浄化センターの建設は、大きな負担となります。古賀市については、今後も公共下水道の整備を続ける必要があると考えられます。

福岡市の公共下水道は、従来から新宮との結びつきが強く、仮に福岡市と合併した場合には、福岡市の公共下水道の面整備がほぼ完了していますので新宮町のエリアに対する重点的な投資が予想され下水道の早期整備が可能となります。

なお、公共下水道以外の合併浄化槽も含めた「下水道等普及率」は、福岡市では98.7%となっていますが、新宮町と古賀市は、77%前後の普及率となっています。

●廃棄物処理

(単位:円)

	新宮町	古賀市	福岡市	備考
し尿処理料金	535	520	290	一般家庭、普通便槽、1人あたり料金/月
家庭ごみ(一般廃棄物)収集頻度	可燃:2回/週 不燃:1回/月	可燃:2回/週 不燃:1回/月	可燃:2回/週 不燃:1回/月	
家庭ごみ(一般廃棄物)料金体系	60(大) 35(小)	60(大) 35(小)	45(大) 30(小)	指定ゴミ袋料金、1枚あたり
家庭ごみ(粗大ごみ)収集方法	戸別	併用	戸別	
家庭ごみ(粗大ごみ)料金体系	無料 (1ヶ月2個)	500	300~1,000	1個あたり

廃棄物処理については、新宮町と古賀市は同じ一部事務組合に参加しているため、住民の負担は同じような水準となっていますが、福岡市とは異なります。古賀市との合併を選択した場合には大きな混乱は見られないでしょうが、福岡市と合併した場合には、一部事務組合の調整や事業の統合などによって、多少の混乱が予想されます。